

# 2004年3月期第3四半期決算説明資料

「ビジネス・プロセス・アウトソーシング」  
の世界標準企業を目指して



株式会社プレステージ・インターナショナル

(大阪証券取引所 ヘラクレス市場：4290)

2004.02.06

- **本資料に記載された将来の事項は参考として記載したもので、その確実性に関して当社が将来に渡り保証するものではありません。本資料に記載された将来の事項は、経済情勢等の事業環境の変化によって予告無く変更することがあります。**

This presentation may provide projections or forward-looking statements regarding future conditions, events or performance. The Company wish to caution you that such statements are just predictions and the actual events or results may differ materially due to changes in business conditions.

# 目次

## 〔2004年3月期第3四半期（2003年10月～12月）〕

1. 当第3四半期(10月～12月)のハイライト
2. 当社の事業内容
3. 2004年3月期四半期別損益計算書
4. 四半期別 売上高の推移(事業別)
5. 四半期別 売上高の推移(地域別)
- 6 - . 事業別業績概況(GACP)
- 6 - . 事業別業績概況(CLS)
- 6 - . 事業別業績概況(CRM&e-CRM)
- 6 - . 事業別業績概況(旅行関連)

## 〔2004年3月期第3四半期決算〕

1. 当第3四半期のハイライト
2. 2004年3月期第3四半期決算損益計算書
3. 売上高の推移
4. 売上高・営業利益の内訳(事業別)
5. 売上高の推移(事業別)
6. 売上高の内訳(地域別)
7. 売上高の推移(地域別)
8. 2004年3月期第3四半期貸借対照表(要約)

## 〔2004年3月期予想概況〕

1. 2004年3月期予想ハイライト
2. 2004年3月期業績予想(連結)

# 2004年3月期第3四半期連結決算 (2003年10月～12月)

## 当第3四半期の連結子会社

Prestige International USA, Inc.  
Prestige International (S) Pte Ltd.  
Prestige International U.K. Ltd.

# 1. 当第3四半期(10月～12月)のハイライト

## ➤ 売上高の状況

- ◆ 売上高は1,765百万円(前年同期比11.5%増、前四半期比1.6%減)
- ◆ グローバルアシスタンス&クレームプロセッシング(GACP)事業は前四半期から回復(売上高364百万円、前四半期比8.8%増)
- ◆ カーライフサポート(CLS)事業が高成長(売上高812百万円、前年同期比20.9%増)
- ◆ カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CRM&e CRM)事業は小幅増収(売上高402百万円、前年同期比6.2%増)

## ➤ 収益の状況

- ◆ 営業利益は88百万円(前年同期比44.6%増、前四半期比35.4%増)
- ◆ 秋田BPOセンターへの業務移管を開始。サービスの品質維持を目的とした東京・秋田の二重オペレーション費用、移管関連費用などが一時的に発生
- ◆ GACP事業は業務効率改善と販管費の抑制により営業利益は大幅増加(営業利益65百万円、前四半期比62.9%増)
- ◆ 秋田BPOセンターへの移管に関連する費用増によりCLS部門は前四半期より減収(営業利益は25.9%減の52百万円)
- ◆ 欧州での新規受託案件に伴う新規投資負担や秋田BPOセンターへの移管に関する費用増によりCRM事業が36百万円の赤字

## 2. 当社の事業内容

- 当社は、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)の専門企業です。顧客(クライアント)企業の一連の業務を一括して受託し、最終消費者(エンドユーザー)が高い満足を得られるサービスを提供することが当社のミッションです。当社の付加価値創造の源泉は、シンプルですが最終消費者の声、ニーズを聞きとることです。消費者の直接的な声から、新規のアウトソーシング事業を生み出してまいります。

BPO事業は以下の3事業に分けられます。

(1) グローバルアシスタンス&クレームプロセッシング(GACP)

- ◆ 損害保険会社やクレジットカード会社に代わり、お客様の医療や損害査定などを全世界24時間サポートしています。

(2) カーライフサポート(CLS)

- ◆ 損害保険会社や自動車メーカーに代わり、自動車の故障などの際に出張修理や車両搬入の手配などを24時間サポートしています。民間最大の規模です。

(3) カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CRM&e CRM)

- ◆ 金融機関や海外通販企業などに代わり、コンタクトセンター業務やデータベースマーケティングを行っています。

(4) 旅行関連事業

- ◆ BPO事業と区分していますが、旅行会社に代わり、海外での企業研修や視察の手配業務から事業は出発しました。現在は、インターネットによる国内航空券手配業務を主としています。

### 3 . 2004年3月期四半期別損益計算書

(単位:百万円未満切り捨て)

	2003年3月期 第3四半期 (02/10-12)		2004年3月期 第1四半期 (03/4-6)		2004年3月期 第2四半期 (03/7-9)		2004年3月期 第3四半期 (03/10-12)		前期比		前年 同期比	
	金額	売上 対比	金額	売上 対比	金額	売上 対比	金額	売上 対比	金額	増減率	金額	増減率
売上高	1,583		1,670		1,794		1,765		-29	-1.6%	+182	+ 11.5%
売上原価	1,231	77.8%	1,252	75.0%	1,393	77.6%	1,369	77.5%	-24	-1.7%	+ 137	+ 11.2%
売上総利益	352	22.2%	417	25.0%	401	22.4%	396	22.5%	-4	-1.2%	+ 44	+ 12.6%
販売費および 一般管理費	290	18.4%	310	18.6%	336	18.7%	307	17.4%	-28	-8.4%	+ 17	+ 5.8%
営業利益	61	3.9%	106	6.4%	65	3.7%	88	5.0%	+ 23	+35.4%	+ 27	+ 44.6%
経常利益	55	3.5%	110	6.6%	55	3.1%	51	2.9%	-4	-7.3%	-4	-8.0%
当期純利益	23	1.5%	85	5.1%	47	2.6%	31	1.8%	-15	-33.5%	+ 8	+ 36.3%
EPS	1,737円37銭		6,424円75銭		3,561円27銭		2,368円88銭					

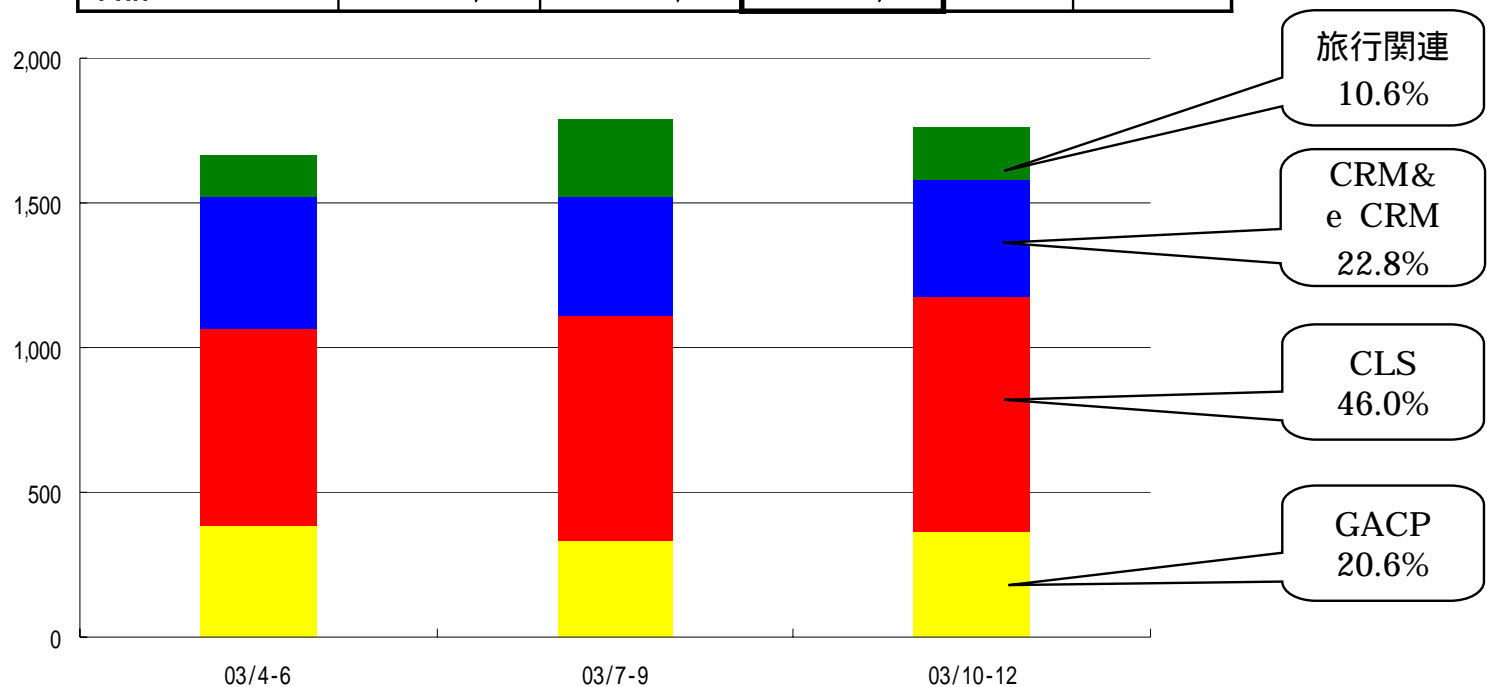
## 4. 四半期別 売上高の推移(事業別)

2004年3月期第3四半期 売上高の内訳

(単位:百万円未満切り捨て)

内訳	2004年3月期 第1四半期 (03/4-6)	2004年3月期 第2四半期 (03/7-9)	2004年3月期 第3四半期 (03/10-12)	前期比	前年 同期比
GACP	383	335	364	+ 8.8%	-4.9%
CLS	685	773	812	+ 5.1%	+ 20.9%
CRM& e CRM	453	412	402	-2.6%	+ 6.2%
旅行関連	147	273	186	-31.8%	+ 24.4%
合計	1,670	1,794	1,765	-1.6%	+ 11.5%

売上高構成比



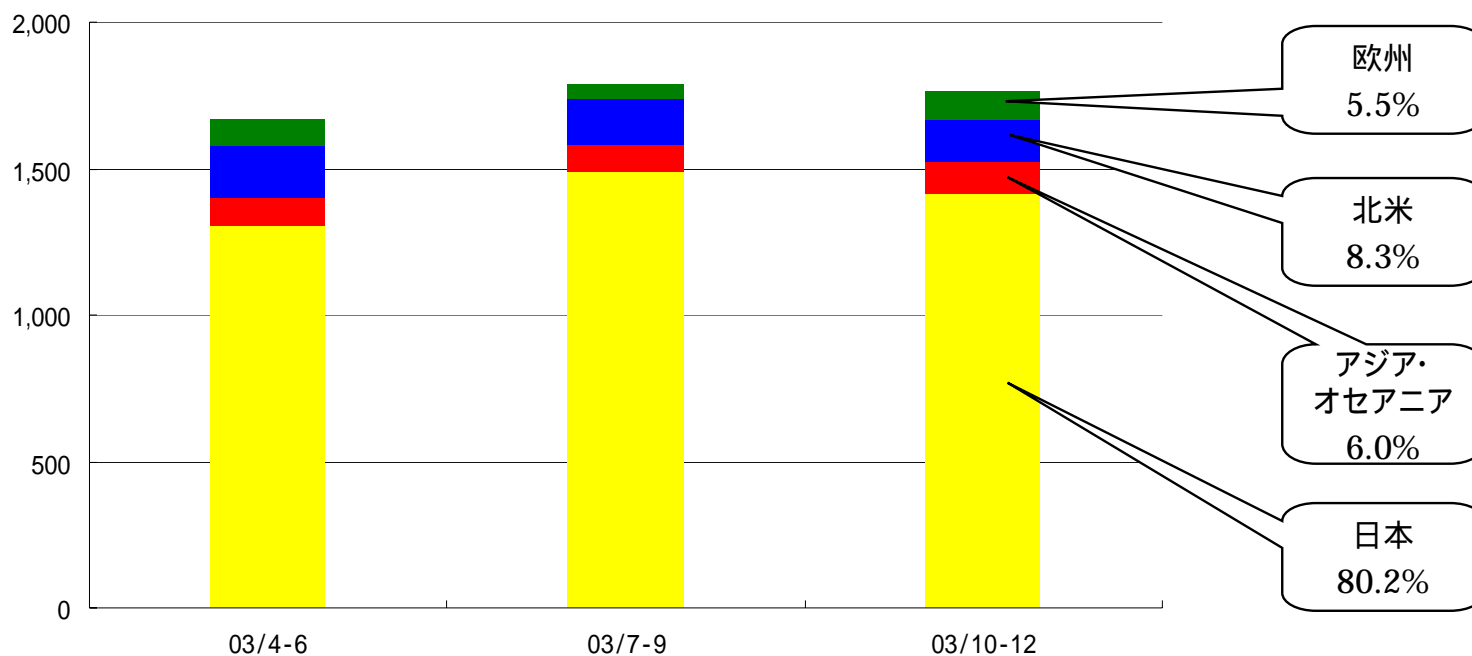
## 5. 四半期別 売上高の推移(地域別)

2004年3月期第3四半期 売上高の内訳

(単位:百万円未満切り捨て)

内訳	2004年3月期 第1四半期 (03/4-6)	2004年3月期 第2四半期 (03/7-9)	2004年3月期 第3四半期 (03/10-12)	前期比	前年 同期比
日本	1,304	1,491	1,415	-5.1%	+ 18.7%
アジア・オセアニア	97	87	105	+ 20.4%	+ 0.2%
北米	181	158	146	-7.7%	-20.0%
欧州	85	56	97	+ 73.6%	-3.8%
合計	1,670	1,794	1,765	-1.6%	+ 11.5%

売上高構成比



## 6 - . 事業別業績概況 グローバルアシスタンス&クレームプロセッシング(GACP)

(単位:百万円未満切り捨て)

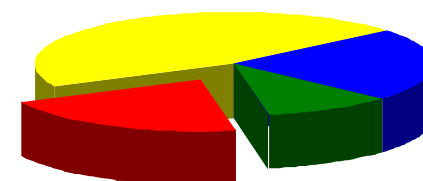
内訳	2003年3月期	2004年3月期			前期比	前年同期比
	第3四半期 (02/10-12)	第1四半期 (03/4-6)	第2四半期 (03/7-9)	第3四半期 (03/10-12)		
売上高	383	383	335	364	+ 8.8%	-4.9%
営業利益	20	41	39	65	+ 62.9%	+ 216.7%
営業利益率	5.4%	10.7%	11.9%	17.9%	+ 6.0%	+ 12.5%

注) 営業利益率の前期および前年との比較値は実績値との差引の値です。

### < 概況 >

- SARSやイラク情勢の影響で減少していた保険査定業務の取り扱いが回復してきました。
- 前四半期に引き続いて、米国でのクレジットカード事業と当社独自の海外駐在員向けヘルスケアプログラムが成長しました。
- 売上の増加と業務手法の改善により、前四半期より営業利益は大幅に増加しました。

< 第3四半期における  
全体売上に占める割合 >



GACP  
20.6%

## 6 - . 事業別業績概況 カーライフサポート(CLS)

(単位:百万円未満切り捨て)

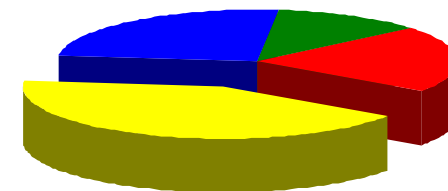
内訳	2003年3月期	2004年3月期			前期比	前年同期比
	第3四半期 (02/10-12)	第1四半期 (03/4-6)	第2四半期 (03/7-9)	第3四半期 (03/10-12)		
売上高	671	685	773	812	+ 5.1%	+ 20.9%
営業利益	56	89	70	52	-25.9%	-7.3%
営業利益率	8.4%	13.0%	9.1%	6.4%	-2.7%	-2.0%

注) 営業利益率の前期および前年との比較値は実績値との差引の値です。

### < 概況 >

- 損害保険会社および国内外自動車メーカー向けの既存受託案件が安定的な成長を続けています。
- また、今四半期に新規受託した大手中古車買取・販売会社の受託案件が売上に寄与し始めました。
- 既存の費用の見直しなど収益構造を改善しましたが、秋田BPOセンターへの業務移管に伴う一時的なコスト増により、営業利益は前四半期より減収となりました。

< 第3四半期における  
全体売上に占める割合 >



CLS  
46.0%

## 6 - . 事業別業績概況 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CRM&e CRM)

(単位:百万円未満切り捨て)

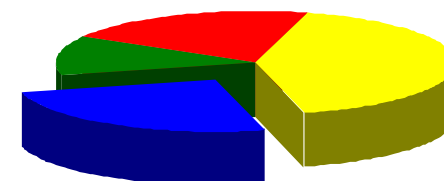
内訳	2003年3月期	2004年3月期			前期比	前年同期比
	第3四半期 (02/10-12)	第1四半期 (03/4-6)	第2四半期 (03/7-9)	第3四半期 (03/10-12)		
売上高	378	453	412	402	-2.6%	+ 6.2%
営業利益	21	-10	-46	-36	+ 21.2%	-
営業利益率	5.6%	-2.3%	-11.2%	-9.0%	+ 2.2%	-14.6%

注) 営業利益率の前期および前年との比較値は実績値との差引の値です。

### < 概況 >

- 国内外とも需要低迷が続きました。
- 秋田BPOセンターへの業務移管に伴う一時的なコスト増や欧州における新規事業の初期投資負担により営業赤字となりました。

< 第3四半期における  
全体売上に占める割合 >



CRM &  
e CRM  
22.8%

## 6 - . 事業別業績概況 旅行関連事業(旅行関連)

(単位:百万円未満切り捨て)

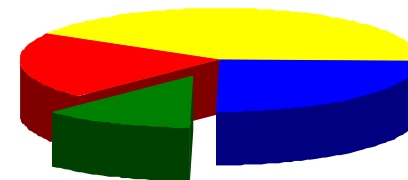
内訳	2003年3月期	2004年3月期			前期比	前年同期比
	第3四半期 (02/10-12)	第1四半期 (03/4-6)	第2四半期 (03/7-9)	第3四半期 (03/10-12)		
売上高	150	147	273	186	-31.8%	-24.4%
営業利益	-36	-13	1	7	+ 429.3%	-121.8%
営業利益率	-24.3%	-9.4%	0.5%	4.3%	+ 3.8%	+ 28.6%

注) 営業利益率の前期および前年との比較値は実績値との差引の値です。

### < 概況 >

- 旅行手配業務を縮小する一方、インターネット上での国内格安航空券手配業務の処理件数が増加しております。

< 第3四半期における  
全体売上に占める割合 >



旅行関連  
10.6%

# 2004年3月期第3四半期決算 (連結ベース)

## 当第3四半期の連結子会社

Prestige International USA, Inc.  
Prestige International (S) Pte Ltd.  
Prestige International U.K. Ltd.

# 1. 当第3四半期のハイライト

## ➤ 売上高の状況

- ◆ 4月～12月期累計売上高は5,230百万円(前年同期比12.0%増)
- ◆ グローバルアシスタンス&クレームプロセッシング(GACP)事業は円高とSARSの影響で減収(前年同期比7.5%減)
- ◆ カーライフサポート(CLS)事業が高成長(前年同期比35.9%増)
- ◆ カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CRM&e CRM)事業が小幅増収(前年同期比2.0%増)

## ➤ 収益の状況

- ◆ 営業利益は260百万円(前年同期比49.0%増)
- ◆ 秋田BPOセンターへの投資により、一時的な二重コストが発生したものの、4月～12月期累計では販管費削減効果により増益となりました。これにより営業利益率は前年同期から1.3%改善し5.0%
- ◆ CLS事業及びGACP事業の収益構造改革効果が顕著なものとなり、全体の収益性改善に寄与しました。

## ➤ 施設の状況

- ◆ 500席のオペレーション稼動可能な秋田BPOセンターを建設しました。(本年度10月1日操業開始)
- ◆ 秋田BPOセンターの開設は、中期的な収益基盤を強固なものとするのが目的です。積極的に人材を採用し、教育・トレーニングを強化しています。

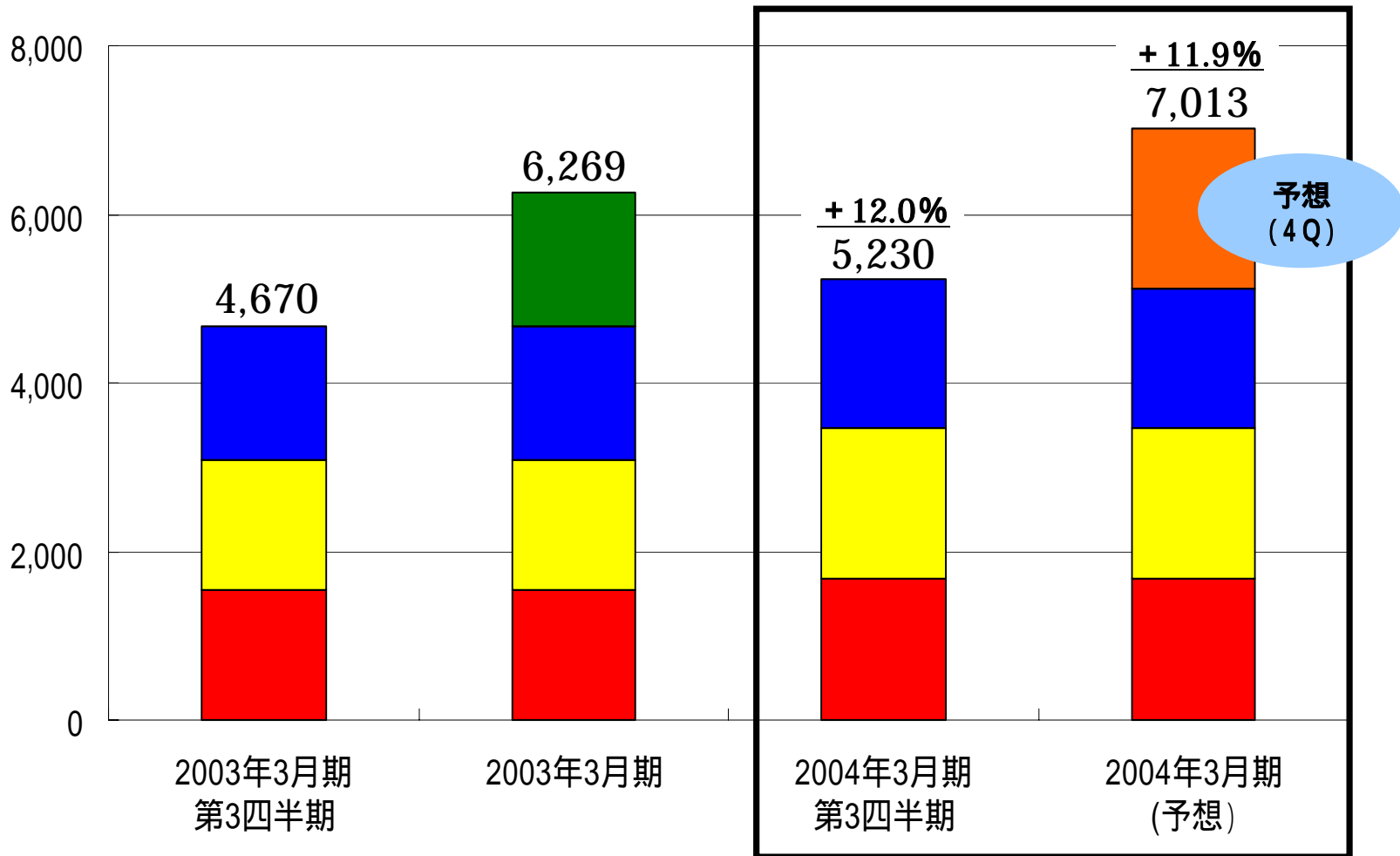
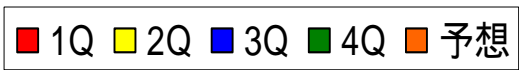
## 2 . 2004年3月期第3四半期決算損益計算書

(単位:百万円未満切り捨て)

	2003年3月期 第3四半期		2004年3月期 第3四半期		前年 同期比		2003年3月期 (参考)
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	増減率	金額
売上高	4,670		5,230		+ 559	+ 12.0%	6,269
売上原価	3,553	76.1%	4,015	76.8%	+ 462	+ 13.0%	4,677
売上総利益	1,117	23.9%	1,215	23.2%	+ 97	+ 8.7%	1,592
販売費および 一般管理費	942	20.2%	954	18.2%	+ 12	+ 1.3%	1,257
営業利益	174	3.7%	260	5.0%	+ 85	+ 49.0%	334
経常利益	141	3.0%	216	4.1%	+ 74	+ 53.0%	278
当期純利益	44	1.0%	164	3.2%	+ 120	+ 269.8%	101
EPS	3,340円71銭		12,354円90銭				7,612円04銭

### 3. 売上高の推移

(単位:百万円未満切り捨て)



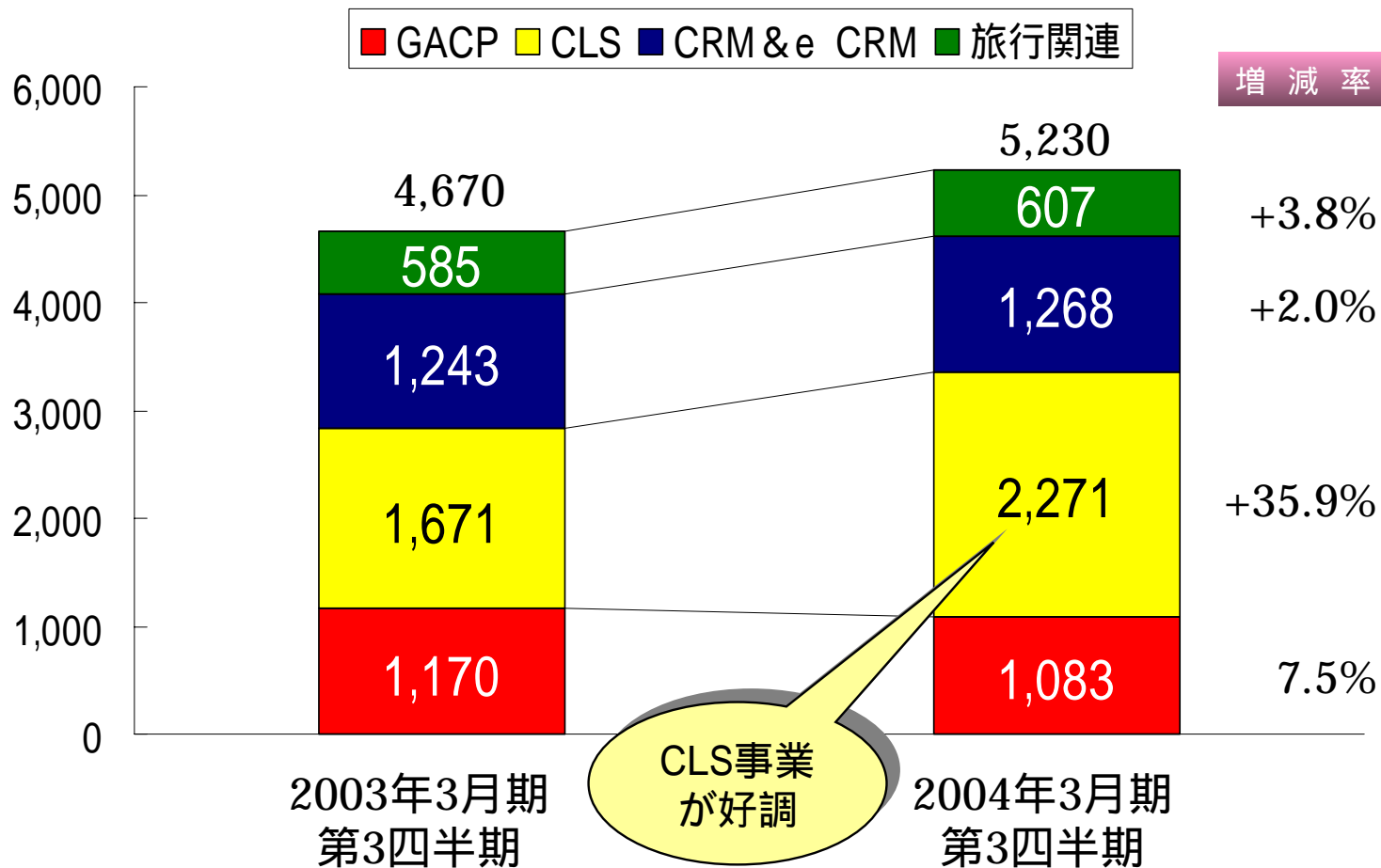
## 4. 売上高・営業利益の内訳(事業別)

(単位:百万円未満切り捨て)

	2003年3月期 第3四半期		2004年3月期 第3四半期		前年 同期比		2003年3月期 (参考)
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	増減率	金額
売上高合計	4,670		5,230		+ 559	+ 12.0%	6,269
BPO事業合計	4,085	87.5%	4,623	88.4%	+ 537	+ 13.2%	5,599
GACP	1,170	25.1%	1,083	20.7%	87	7.5%	1,587
CLS	1,671	35.8%	2,271	43.4%	+ 600	+ 35.9%	2,193
CRM&e CRM	1,243	26.6%	1,268	24.3%	+ 24	+ 2.0%	1,818
旅行関連事業	585	12.5%	607	11.6%	+ 22	+ 3.8%	670
	金額	売上対比		売上対比		増減率	金額
営業利益(損失)	174	3.7%	260	5.0%	+ 85	+ 49.0%	334
BPO事業合計	196	4.2%	264	5.1%	+ 68	+ 35.0%	373
GACP	85	1.8%	146	2.8%	+ 60	+ 71.0%	109
CLS	73	1.6%	211	4.0%	+ 138	+ 188.4%	202
CRM&e CRM	37	0.8%	92	1.8%	130	-	62
旅行関連事業	21	0.5%	4	0.1%	+ 16	+ 79.8%	38

## 5. 売上高の推移(事業別)

(単位:百万円未満切り捨て)



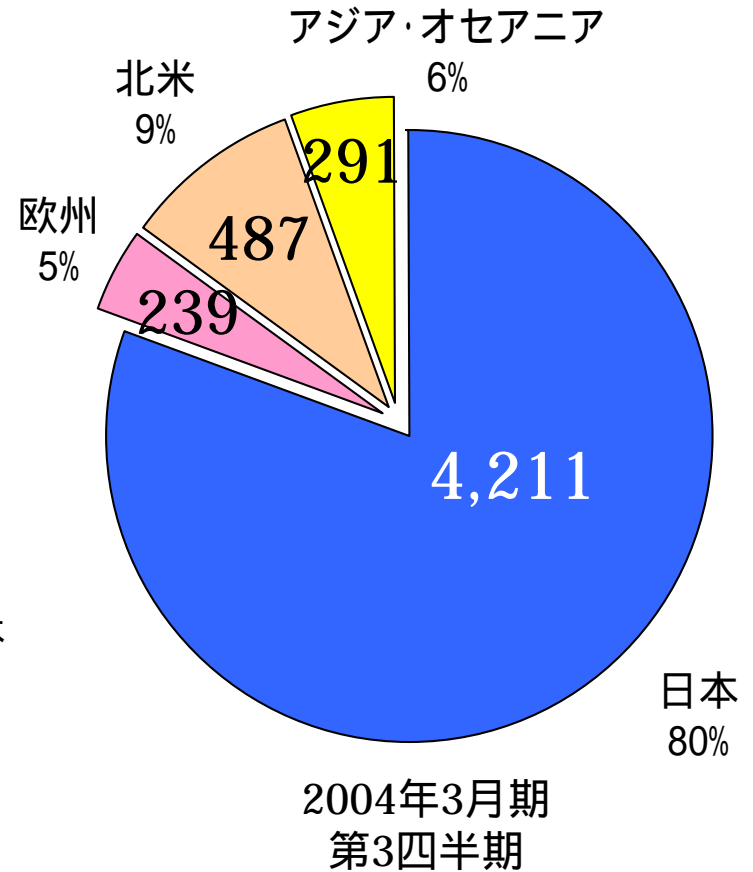
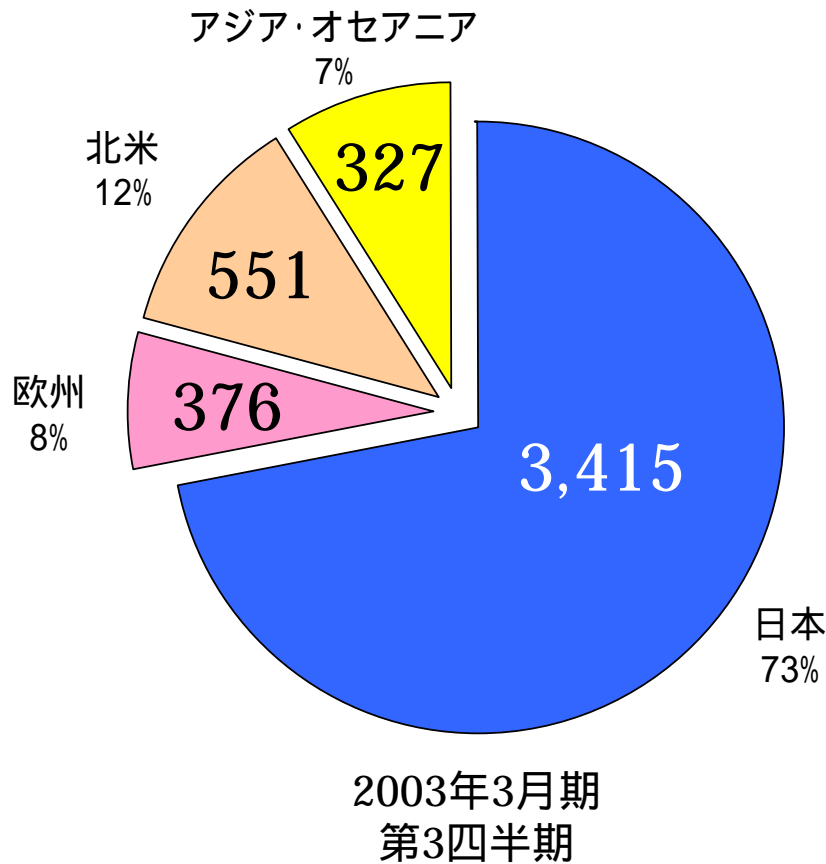
## 6. 売上高の内訳(地域別)

(単位:百万円未満切り捨て)

	2003年3月期 第3四半期		2004年3月期 第3四半期		前年 同期比		2003年3月期 (参考)
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	増減率	金額
売上高合計	4,670		5,230		+ 559	+ 12.0%	6,269
日本	3,415	73.1%	4,211	80.5%	+ 796	+ 23.3%	4,637
アジア・オセアニア	327	7.0%	291	5.6%	35	-10.9%	436
北米	551	11.8%	487	9.3%	-64	-11.7%	728
欧州	376	8.1%	239	4.6%	-136	-36.3%	466

## 7. 売上高の推移(地域別)

(単位:百万円未満切り捨て)



CLS事業の成長により国内売上高が順調に推移しました。

## 8 . 2004年3月期第3四半期貸借対照表(要約)

(単位:百万円未満切り捨て)

	2003年3月期 期末	2004年3月期 第3四半期	増減
I. 流動資産	1,594	1,855	+ 260
現金及び預金	447	684	+ 236
受取手形及び売掛金	771	858	+ 87
繰延税金資産	111	121	+ 10
その他	256	185	-70
II. 固定資産	668	1,180	+ 511
有形固定資産	202	601	+ 398
無形固定資産	185	273	+ 88
投資その他の資産	281	305	+ 24
合計	2,263	3,035	+ 771
I. 流動負債	1,258	1,539	+ 280
II. 固定負債	71	423	+ 351
III. 自己資本	933	1,072	+ 139
合計	2,263	3,035	+ 771

# 2004年3月期予想概況

# 1. 2004年3月期予想ハイライト

---

通期業績予想に変更はありません。

予想売上高7,013百万円 予想経常利益273百万円(連結)

今期末までに2003年10月に開設した秋田BPOセンターへ主要な業務運営を移管する計画です。

基礎的な収益性は、中間期(4月～9月)同様の水準で維持されると見込んでおりますが、開設した秋田BPOセンターへの業務移管に伴う費用の発生により、一時的に売上原価と販売費および販管費が増加する見通しです。この見通しは、本年5月に発表いたしました通期業績予想に織り込み済みであり、従って通期業績予想に変更はありません。

- 新規受託案件が順調に成長しているGACP、CLS事業の契約は長期に渡るものと見込まれます。
- 秋田BPOセンターへの業務移管の主たる費用は、顧客企業へのサービスレベルを維持するための東京と秋田での二重のオペレーションに伴うものです。
- 秋田BPOセンターの開設は、当社の中期的収益基盤を強化し、持続的成長の基礎となることと確信しております。

## 2. 2004年3月期業績予想(連結)

(単位:百万円未満切り捨て)

	2004年3月期 第3四半期		2004年3月期 (予測)	
	金額	売上対比	金額	売上対比
売上高	5,230		7,013	
売上原価	4,015	76.8%	5,493	78.3%
売上総利益	1,215	23.2%	1,520	21.7%
販売費および 一般管理費	954	18.3%	1,250	17.8%
営業利益	260	5.0%	269	3.8%
経常利益	216	4.1%	273	3.9%
当期純利益	164	3.2%	280	4.0%